

桜ヶ丘だより

KAGOSHIMA UNIVERSITY HOSPITAL PR NEWS

2026.5



泌尿器科



救命救急センター

CONTENTS

- 【特集】診療科・部署紹介
泌尿器科／救命救急センター
- Leader's VOICE
- 鹿大病院のお仕事
- さっつんの「教えて!鹿大病院」
- 鹿児島大学病院基金への寄附者様ご芳名一覧

患者さん・医療関係者のみなさまへ 初診予約のご案内

鹿児島大学病院は、各診療科ごとに専門外来が分かれており、外来は原則予約制です。
初診のお申し込みは、必ず医療機関からお願いいたします。
他の医療機関からの予約・紹介状が必要です。

※紹介状がない場合は、選定療養費を負担していただきますので、他院からの紹介状をお持ちになることをおすすめします。
※予約のない受診はできません。急患はこの限りではありません。



歯科(初診)の予約は、歯科予約センター(099-275-6595)にお電話ください。

泌尿器科

病気という不安の中にいる患者さんが安心して治療に臨めるよう十分に話し合い、治療後の生活の質にも配慮しながら治療方針を決定します。セカンドオピニオン外来も受け付けておりますので、不安なことがあれば遠慮なくご相談ください。



診療科長 榎田 英樹

鹿児島大学病院泌尿器科の特徴は？

鹿児島大学病院泌尿器科では、手術が必要な泌尿器がんをはじめ、腎移植、排尿機能障害、尿路結石、透析、小児泌尿器、生殖医療など、幅広い疾患に対応しています。これは、いわば「医療のデパート」のように泌尿器科におけるほぼ全ての分野を網羅しているということです。多様な泌尿器科疾患に一つの施設ですべて対応できる体制は全国的にも珍しく、大きな強みといえるでしょう。また、血液浄化部門では慢性腎不全の周術期管理に加え、内科領域の難病に対する特殊な免疫吸着療法も行っており、大学病院としての総合力を活かした高度な医療を提供しています。

現在取り組んでいる最新の治療はありますか？

2026年5月から、転移性去勢抵抗性前立腺がんに対する新しい放射性薬剤を用いた治療を開始します。これは、がん細胞の表面にある特殊なタンパク質に結合する薬剤を注射して、がん細胞を狙い撃ちする治療法です。日本では比較的最近承認された新しい医療で、手術を受けることができない進行期の患者さんにとって新たな選択肢となり、生存期間の延長が期待されています。保険適用となっている点も患者さんにとって大きな利点です。

先生が大切にしていることは何ですか？

泌尿器科は研修医を含めて15人ほどの小さな医局なのでマンパワーに限りがあり、その分、チームワークを大切にしています。円滑な診療・手術のために、誰もが疑問や気づきを素直に発言できる環境づくりを心がけています。

ロボット支援手術導入について教えてください

鹿児島大学病院では、2017年に導入した手術支援ロボット「ダヴィンチ」に加え、2022年には国産の「hinotori」も導入し、これを契機にロボット手術センターを設立しました。センターでは、各診療科や多職種が連携して高度な手術技術の醸成や医療安全の共有を行っています。将来的には、ロボットを使った離島での遠隔手術の実現も視野に入れた取り組みが進められています。



2023年、鹿児島大学病院でのダヴィンチによる手術症例が累計1,000件を達成。2026年にはhinotoriの手術症例が500件に到達した。



救命救急センター

私たちは、命を預かる重みを真摯に受け止め、患者さんご家族の思いに寄り添います。救急の現場は、ときに厳しい現実と直面することもあります。ご家族が前を向いて未来を歩んでいくための心の支えとなるような医療を目指しています。



センター長 新山 修平

鹿児島大学病院救命救急センターの強みは？

鹿児島大学病院の救命救急センターは、2014年、救急部と集中治療部が統合されるかたちで設立し、現在、関連病院を含め50名以上の医局員が在籍しています。救急医療は内科系から外科系まで幅広い疾患に対応しますが、私たちの最大の強みは、大学病院ならではの総合力です。各診療科のさまざまな専門医が緊密に連携し、さらに、看護師や理学療法士、臨床工学技士、薬剤師など多職種が一体となって、あらゆる重症患者に対応できる体制を整えています。

地域医療でどのような役割を担っていますか？

私たちは「県民の命を守る最後の砦」として、離島を含む県全体の医療をカバーしていくという強い矜持を全スタッフが共有しています。近年、ドクターカーやドクターヘリによる病院前救護、災害医療、新興感染症対策など、救急医療の守備範囲はますます広がっており、地域医療機関や行政との連携を含めた広域的な医療体制の構築が重要です。特に、コロナ禍において必然的に築かれた強固なネットワークは、大規模自然災害など今後の有事にも必ず力を発揮すると考えています。

迅速な救急医療のために大切にしていることは？

一刻を争うような救急の現場で、迅速な対応を可能にするのが、日頃から築かれるコミュニケーションです。最新の医療機器があっても、スタッフ間の意思疎通がうまくいかなければ、その力を十分に発揮することはできません。災害訓練などでも、まずは参加者同士が顔を合わせ、同じ方向を向く（ベクトルを合わせる）ことが大切です。AIの進化が進む時代ですが、人の機微に触れるアナログな対話が、救命の現場を支える土台になると信じています。

今後のビジョンや目指す医療のかたちとは？

これまでの「縦のつながり」だけでなく、地域や行政を巻き込んだ「横のつながり」のさらなる強化を目指します。離島などの遠隔診療においても、各診療科が個別に対応するのではなく、大学病院全体が連携して動ける体制が理想です。現場が自律的に考えて動き、その「点」が縦横の「線」となり、やがて「面」になる。そういった強固な組織づくりを目指しています。大学病院の診療・教育・研究という三本柱も、横断的なネットワークによって新たな発展が期待できるのではないのでしょうか。



さっしんの

教えて! 鹿大病院



Q

不安なこと、相談したいことがあるけれど…どこに相談したらいいの？

A

患者相談窓口へお越しください。A棟(外来診療棟)1階、玄関近くに設置してあります。

専任の相談員が対応いたします。本院で診療を受けられる方、ご家族および付き添いの方からの医療や看護に関する相談、お困りごとや心配ごとなど、お気軽にご相談ください。

ご相談の内容に応じて、適切な部署や職種と連携して対応します。ご相談内容や個人情報については、問題解決以外の目的に使用いたしません。

また、ご相談によって診療を受けられる方、またはそのご家族などが不利益を受けるようなことはありません。

※患者相談窓口の場所については、裏面「外来診療のご案内」にてご確認ください。

受診には「スマホ診察券」が便利！



本院が導入している、無料アプリ「スマパ」をお持ちのスマホにインストールすると、お手持ちの診察券をデジタル化した、「スマホ診察券」が使えるようになります!! スマホ診察券であればスマホのみで再診受付が可能になりますので、「診察券の持ち歩き不要」、「診察券の紛失の心配を軽減」、「家族の診察券も1台のスマホで管理」等々、メリットが盛りだくさんです。是非お試しください!! (スマホ診察券の発行手続きは、1階「総合案内」でお願いします。)

ボランティアを募集しています

大学病院では、外来における患者さんのお世話などをさせていただくボランティア活動員を常時募集しています。「鹿大活き活きボランティア」にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

鹿児島大学病院 医務課 医療安全係
TEL:099-275-5157

鹿児島大学病院基金への寄附者様ご芳名一覧

鹿児島大学病院基金へのご寄附、心より感謝申し上げます。

ご寄附いただきました方々への感謝の意を込め、ここにご芳名を掲載させていただきます。また、個人で3万円以上のご寄附をいただいた方については、ご芳名を刻印した銘板を、鹿児島大学病院へ掲示し、末永く記録に留めさせていただきます。(公表に同意された方のみ掲載・掲示)

今後とも、鹿児島大学病院へのご支援、ご協力を賜いますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年5月

鹿児島大学病院長 石塚 賢治

令和7年10月から令和8年3月までの寄附者様(順不同・敬称略)

個人

【200万円】 稲森 一男
【10万円】 小山田 美菜
【5万円】 赤崎 安昭
松下 せつ子
【3万円】 鈴木 麻里
佐藤 秀夫
八代 利香
【1万円】 榎並 伸太郎

ご芳名のみ掲載希望の寄附者様

家村 和千代 市坪 卓朗
小田 里知子 西谷 佳浩
萩元 美恵野 若松 隆二

掲載を希望されない寄附者様
13名

鹿児島大学病院基金へのご寄附のお願い

お問い合わせ先 鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係

TEL: 099-275-6692 FAX: 099-275-6846

Eメール: kufsyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

基金ホームページ: <https://www.hosp.kagoshima-u.ac.jp/fund/>

Leader's VOICE

口腔外科 奥井 達雄 教授

★趣味…細胞培養や顕微鏡で細胞の形態を観察すること

★座右の銘…「和をもって尊しとなす」



先生の専門分野について教えてください

口腔・顎・顔面に生じるさまざまな疾患の治療を専門としています。なかでも口腔がんに対する集学的治療に力を入れています。研究では、がんの骨転移のメカニズム解明や骨痛の制御に関する基礎研究を行っています。

先生の研究・診療の強みや特徴は？

鹿児島大学病院口腔外科は、高度進行口腔がんの切除・再建から光免疫療法などの最新治療まで、関係診療科と密接に連携しながら提供できる数少ない医療機関であると自負しています。基礎研究では、がん・骨・神経の相互作用という新しい研究領域に取り組み、米国Indiana大学医学部血液腫瘍内科・Tulane大学解剖学講座などと共同研究を行っています。

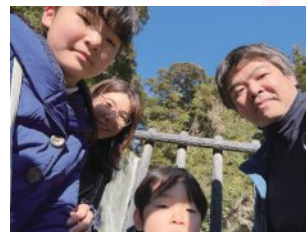
診療を行う上で大切にしていることは？

鹿児島県内の口腔外科疾患の患者さんが、県外へ行かなくても

質の高い治療を受けられる体制を整えることです。鹿児島は離島も多く広い地域であるため、医局員にも幅広い治療技術を身につけてもらい、地域の患者さんに一貫した口腔外科医療を提供できるよう努めています。

鹿大病院を受診される患者さんへ一言

鹿児島大学病院では、口腔領域に発生するさまざまな疾患に対応することができます。医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士など、それぞれの専門職がチームとして連携し、患者さんに最善の医療を提供できるよう努めています。



2024年に家族で鹿児島県に引っ越してきました。桜島や霧島などいろいろな所を家族で散策しています。

鹿大病院のお仕事

栄養管理部 編



管理栄養士 永田 敦美

★座右の銘…「塵も積もれば山となる」

★一言メッセージ…食事や栄養でお困りの際は、管理栄養士にご相談ください。

Q 現在のお仕事を目指したきっかけを教えてください

「食べることは生きること」と言われるように、食事は健康や生活の質に深く関わる大切なものだと感じています。栄養の面から人の健康を支えたいと思い管理栄養士を目指しました。

Q 現在担当している業務について教えてください

栄養指導や入院患者さんの食事内容の確認、入院支援などを行っています。医師や看護師など多職種と連携しながら、患者さんの状態に合わせた栄養管理が行えるよう努めています。

Q 仕事を行う上で大切にしていることは？

患者さん一人ひとりの状態や生活環境、気持ちに寄り添いながら丁寧に対応することを大切にしています。日々学ぶ姿勢を忘れず、より良い栄養管理につなげられるよう心掛けています。

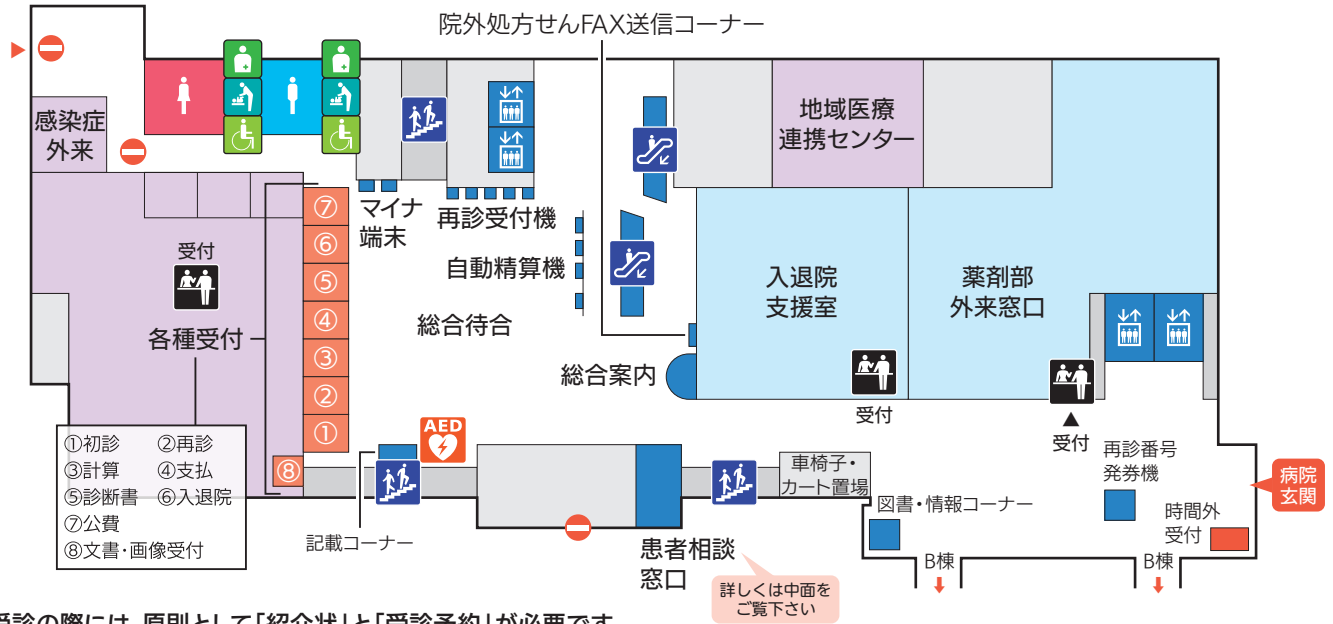
Q 仕事をしていて、「嬉しいこと」「成長したと思ったこと」など

食事内容の調整を通して栄養状態が少しずつ改善したり、食欲が出て患者さんが元気になっていく姿を見るとやりがいを感じます。また日々の業務の中でできることが増え、栄養管理に関われているときに成長を感じます。

Q 鹿児島大学病院の栄養管理部の魅力は？

県内唯一の特定機能病院であり、多くの診療科があるため様々な疾患を学ぶことができます。また管理栄養士の先輩が多く、相談しながら学べる環境が整っています。

外来診療のご案内



受診の際には、原則として「紹介状」と「受診予約」が必要です。

初診

初診①番窓口
(8:30~11:00)

- マイナ保険証
- 医療券(お持ちの方のみ)
- 紹介状
- 外来診療申込書 ※受付前に記載

文書・画像⑧番窓口

画像・検査データ(CD等)がある方

再診

番号発券機(7:30~)
再診受付機(8:00~17:00)

- マイナ保険証
- 診察券
- 医療券(お持ちの方のみ)

再診②番窓口

再診受付機で受付できなかった方
(マイナ保険証確認など)

※診療開始時間は8:30からです。

各診療科受付・診察・検査(採血・レントゲン・心電図など)

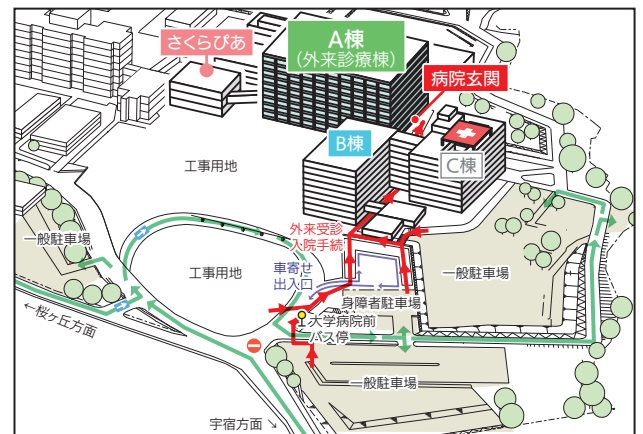
受付時に発行された「本日のご案内」をもとに各部門へお進みください。

計算③番窓口

「外来患者連絡票」を提出し、受付番号が案内板に表示されるまでお待ちください。

自動精算機または支払④番窓口

- 【受付番号の色】 ○白:自動精算機 ●赤:④番窓口 ●黄:支払いなし
- 支払いがない場合でも、管理票を提出された方は④番窓口にお越しください。
 - 各種クレジットカード・デビットカードが利用可能です。
 - 領収証の再発行は出来ませんが、1通3,300円で医療費領収証明書を発行いたします。(④番窓口へ)



駐車場のご利用について

診療で来院された方 総合案内での手続きで無料になります。

面会の方

30分以内	無料
1時間まで	100円
2時間まで	200円
3時間まで	300円
4時間まで	400円
4時間を超えた場合(ただし同日内)	500円

外来診療棟・病棟(A棟)施設概要

1F

- 総合受付
- 入退院支援室
- 感染症外来
- 薬剤部外来窓口
- 地域医療連携センター
- 患者相談窓口

2F

- 内科外来
- 外科外来
- 看護外来
- 中央採液室
- 臨床心理室
- 光学医療診療部

3F

- 眼科
- 産科・婦人科
- 神経科精神科
- 泌尿器科
- 皮膚科
- 形成外科
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 治験外来、治験相談室
- 臨床研究管理センター

4F

- 整形外科・リウマチ外科
- 麻酔科
- 患者サロン・がん相談支援センター
- 手術部、周術期・術前外来
- 病理部、病理診断科
- 栄養相談室
- 外来化学療法室
- 緩和ケアセンター、褥瘡対策室

5F

- 小児科
- 小児外科
- 小児歯科
- 歯科

表紙の写真

上: 泌尿器科

下: 救命救急センター



鹿児島大学病院広報誌

桜ヶ丘だより

KAGOSHIMA UNIVERSITY HOSPITAL PR NEWS

67

2026.5

●発行日/2026(令和8)年5月発行 ●発行/鹿児島大学病院広報委員会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6726 URL: <https://www.hosp.kagoshima-u.ac.jp/>

